

第 352 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和元年 6 月 4 日 (火) 11:00～13:05
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix Double Eyes
[放送日時] 平成 31 年 5 月 29 日(水)11:30～14:55
[出演者] 新井翔
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康 委員 小野晃司
委員 山本りさ 委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
- [会社] 代表取締役社長兼会長 祐嶋繁一
専務取締役 竹内照夫
編成制作本部長兼編成制作部長 久保田克敏
編成制作部制作担当部長 寺田和史
編成制作部副部長 安原明子

5. 事務局報告

- 新社長就任の件
- 聴取率調査週間の件

6. 番組審議

- [対象番組] K-mix Double Eyes
[放送日時] 平成 31 年 5 月 29 日(水)11:30～14:55
[出演者] 新井翔
[番組内容] “ダイバーシティ”をテーマに、多様な価値観を考え
学ぶ番組。

[聴取・合評での主な意見]

小野委員

3 時間半を一生懸命頑張っている印象。張りのある明るい声。しかしトピックスの読みになると途端に棒読みになる。深掘りコーナーでは、本人の海外経験を活かして海外との比較などがあると良かった。「エアライン」コーナーは少し長い。本人は楽しそうに話しているが、個人的には興味が持てなかった。全体的に、各コーナーが長くメリハリがない。リスナーとのコミュニケーションは良く取れている。性格の良さを感じる。

- 加藤委員 伸びやかで元気。ハキハキしていて聴き易い。個人的には鉄道や乗り物が好きなので、エアラインコーナーには引き込まれた。面白い試みだと思う。「深掘り」「おとなリサーチ」は、ややコーナーのメリハリに欠けると感じた。彼にはポテンシャルを感じる。彼の良さを引き出してくれる人と組むと、更に個性が出るかもしれない。
- 服部委員 礼儀正しく律儀。とっても感じが良い。リスナーに上手に投げかけているので、反応も多いのだろう。「深掘り」では、西暦で言うよりは〇年前という表現が良い。「エアライン」は琴線に触れた。楽しく話しているのがこちら側にも伝わってくる。一方「おとなリサーチ」は歴史や文化面も広げていかないと、長く続かないだろう。「交換日記」コーナーは、2人のパーソナリティが同じテーマで話してもいいと思う。
- 山本委員 声優のような声ではっきりと聴きとれる。駅弁の話では地元である JR 東海の話をもっとしてほしかった。あれでは JR 全てがコーヒー販売をやめたように聴こえる。ダイバーシティの視点で世界の駅弁情報なども欲しかった。しかし新井は、リスナーが思わず伝えたくなる・教えてあげたいと思わせるキャラクターだ。交換日記は、月 1 回でも 2 人の同時出演があっても良いと思う。
- 角田副委員長 個人的には水木が圧倒的に良い。誠実さが出ている。海外経験を殊更強調していない所に好感が持て、リラックスして聴ける。しかしダイバーシティさは全く感じなかった。複言語的でなく、複文化的な発想で話さないとダイバーシティは伝わらない。「エアライン」は、データのな話に終始していたため搭乗感は無かった。作りこみに工夫が欲しい。
- 木宮委員長 全体的に彼のパーソナリティは概ね高評価だ。丁寧で好感が持てる。内容については検討が必要。番組の方向性とリスナーの生活感覚に乖離があるのかもしれない。この路線で行くのか、ローカル感を強くするのか、見極めが必要かもしれない。山梨長野の情報も、やはり現地の方に聞かなければ面白さがない。リスナーに一所懸命投げかけている割には、返しが薄くもったいない。テーマなど、番組構成の整理が必要だ。
- 会社サイド 前回(第351回)ではコーナー企画などについて評価頂いた一方、ダイバーシティの在り方などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和元年7月2日(火) 11:00~13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信